

■シンガポール：2019年から炭素税を導入へ

2017年2月23日付の専門誌によると、シンガポールは2019年から二酸化炭素1t当たり10～20米ドルを課税する炭素税を新設する。制度の詳細は3月に公表される予定で、財務省によると課税対象は個人ではなく産業界が主体となる見込み。課税により排出削減のインセンティブを与えることになり、シンガポールがパリ協定で目標としている2030年の36%削減に向けた政策が動き出す。